

感染状況・医療提供体制の分析(12月1日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 ①、②は公表の前週(月～日)の合計 ③～⑤は公表の週の水曜日時点	前回の数値 (11月24日公表)	現在の数値 (11月24日公表)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	130人	163人	↑	感染状況コメント レベル2. 感染拡大の兆候があり注意が必要
		定点当たり数	1.55人	1.94人	↑	
		報告数に占める60歳以上の割合	32.3%	27.0%	↓	定点当たり患者報告数は 1.94人 と微増。インフルエンザ患者数は増加(定点当31.35人)、 インフルエンザ警報発令 。 全国的にも岡山でも新型コロナ感染は微増も落ち着いている。一方、インフルエンザは増加傾向。体調不良時は外出しないといた心がけや、状況に応じたマスクの適正使用が必要。高齢者や重症化リスクのある方は、重症化を防ぐために新型コロナワクチン接種が推奨される。また、インフルエンザワクチン接種も推奨される。
	岡山市保健所	1.14人	1.14人	→		
	倉敷市保健所	1.69人	3.13人	↑		
	備前保健所	0.93人	1.67人	↑		
	備中保健所	1.92人	1.42人	↓		
	備北保健所	2.83人	2.83人	→		
	真庭保健所	2.67人	0.67人	↓		
	美作保健所	1.60人	2.70人	↑		
医療提供体制	③ 入院報告数	71人	86人	↑	医療提供体制コメント レベル2. 体制逼迫の兆候があると思われる	
	④ 重症者数	0人	1人	↑	入院報告数も大きく変わらず。新型コロナウイルス患者の入院は継続するも、県全体としては医療提供体制は安定している。	